



まだまだ寒い日が続いていますが、暦の上では春の訪れを告げる「立春」を迎えました。冷たい北風の中でも、木の芽や虫たちは春の準備をしています。皆さんも一人ひとりの春に向かって頑張りましょう。

2月17日は 天使のささやきの日

「天使のささやき」とは、空気中の水蒸気が凍ってできるダイヤモンドダストのことです。1978年2月17日に北海道で氷点下41.2℃という最低気温が記録されたことにちなみ、1994年に制定されました。光を屈折させたり反射させたりして、キラキラ輝く氷の結晶は美しい天使たちがささやいているようです。

「雪の女王」 ハンス・C・アンテルセン：原作 ナオミ・ルイス：文

ある町にカイとゲルダという子供が住んでいました。冬のある日、カイは雪の女王に連れ去られ、帰ってきません。春になりゲルダはカイを探す旅に出て、女王の宮殿にたどり着きます。その宮殿は雪や氷におおわれた美しい世界なのですが……。カイを助けることはできるでしょうか？

「ダイヤモンドダスト」このミステリーがすごい！より 安生正：著

明神と奥脇は同期入社のお営業マン。ある日、残業で遅くなった2人が新宿駅から帰宅しようとする、猛烈な寒波が押し寄せ、たちまちのうちに猛吹雪となってしまふ。電車は動かず、駅はあふれんばかりの人。会社に引き返そうとした二人だが、生き残れたのは一人だけだった。二人に何が起こったのか？

「雪と氷 水の惑星からの贈り物」 片平孝：著

ダイヤモンドダストやモンスターのように成長する樹氷など、美しい貴重な写真と解説。

アーサー・コナン・ドイル没後90年

～現代のミステリー作品の基礎を築いた～

イギリスの作家で、推理小説・歴史小説・SF小説など多数の作品を書いています。特に『シャーロック・ホームズ』シリーズは有名です。

「**緋色の研究**」シリーズの第一作目で、シャーロック・ホームズが初めて登場します。連続殺人事件を解決し、犯人の犯行動機が語られる構成は、現代のミステリーでも使われている構成です。

「**北極星号の船長**」コナン・ドイルは医学生の際に、半年間捕鯨船にのったことがあります。その時の経験をもとに描かれたこの作品は、航海中に幽霊が登場する怪奇小説です。



本を探しています

年末の蔵書点検で所在不明の本がありました。

家に持って帰って、返し忘れていた学級文庫の本はありませんか？ロッカーや机の中に入れてたままになっている本はありませんか？心当たりのある人は、早めに返却してください。

この本、読んでみませんか？ (元図書館委員 将貴さんおすすめ)

「**こころ**」 夏目漱石：著

この本では登場人物の名前が出てきません。主人公さえ「私」と表現され、「先生」もずっと名前が明かされません。主人公の親友さえKと呼んでいます。にもかかわらず、登場人物の感情の変化が非常にわかりやすく、巧みに表現されています。「先生」と親友Kの行動とそれに伴う心の動きが、非常に丁寧に描かれていて、興味深く、読めば読むほど奥が深い作品だと思いました。

